

ゆうでんかい、 YUDENKAI

大阪電気通信大学友電会
大阪電気通信大学同窓会組織

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University

No.122

2015/3



特集

廣谷 明氏 インタビュー

大阪電気通信大学 現役大学生と
友電会OB教員との教育座談会

第54回 大学祭開催

<http://www.yudenkai.org>

第3回

ホームカミングデー

第3回目のホームカミングデーが2014年11月1日(土)、母校・大阪電気通信大学
寝屋川キャンパスで開催されました。

J号館で式典



正門



式典で歓迎の
挨拶 学長



懇親会で歓談



懇親会で大学歌演奏

夜も盛り上がる
大学祭 中庭



総合情報学部 ホームカミングデー

2月7日(土)、母校・大阪電気通信大学の四條畷キャンパス
で開催された総合情報学部卒業制作展「なわてん」に合わせて、
OB・OGの懇親の場として、6号館1F「エルスエヒロ」で、ホー
ムカミングデーが催されました。



受付



歓談



上善学部長の挨拶



懐かしい恩師の顔も



ゆうでんかい

大阪電気通信大学・同窓会組織 友電会会誌

大学学章・スクールカラー紹介	03
編集室より	

廣谷 明氏 インタビュー

教職を目指す学生のため、友電会は取り組んでいます。	04
---------------------------	----

大阪電気通信大学 現役大学生と

友電会OB教員との教育座談会	06
----------------	----

友電会念願の法人化へ！移行準備がいよいよスタート！	08
---------------------------	----

平成26年度 大阪電気通信大学友電会 支部だより	10
--------------------------	----

- 九州支部総会・懇親会・研修会
- 東海総支部研修会実施報告
- 関東総支部 神奈川支部総会・懇親会
- 京都支部見学会・総会・懇親会

祝 入学 卒業(広告)	14
-------------	----

平成26年度友電会役員	16
-------------	----

学生団体一覧表	17
---------	----

大阪電気通信大学 第54回 大学祭開催	18
---------------------	----

なわフェス'14	23
----------	----

TOPIX トピックス	24
-------------	----

- 自治会吹奏楽団 第39回定期演奏会
- 母校・水本雅晴名誉教授「2014 Fuzzy Systems Pioneer Award」を受賞
- 新理事長に成瀬氏
- 寝屋川キャンパスC号館跡地整備
- 大阪電気通信大学YH(ユースホステル)部OB懇親会開催

友電会創立50周年記念特集 母校草創期「思い出のアルバム」OB寄稿文	27
------------------------------------	----

訃報	28
----	----

平成27年度 友電会通常総会・合同懇親会 告知	29
-------------------------	----

- ◆「平成27年度 友電会神戸支部総会・懇親会」開催案内
- ◆「平成27年度 友電会東海総支部総会・懇親会」のご案内
- ◆「平成27年度 友電会びわこ支部総会・懇親会」のご案内

■ 会誌への投稿や事務局への連絡等は E-mail か FAXで

友電会事務局 FAX:072-824-1197

E-mail:yudenkai@yudenkai.org

2015年3月16日 第122号

発行所／大阪電気通信大学友電会(大阪電気通信大学同窓会組織)

YUDENKAI The Alumni Association of
Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530
(友電会直通) TEL: 072-824-3111 FAX: 072-824-1197
(大学代表) TEL: 072-824-1131 内線 3266
郵便振替番号 00990-5-49361

発行責任／友電会会長 池本善一

編集責任／友電会事務局長 安 弘

編集／藤田英治(広報部会長)、野田鐘一

資料提供／学校法人大阪電気通信大学、大阪電気通信大学事務局他

寄贈先／大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会

並びに国立国会図書館逐次刊行物部、その他

購読料／2年間 1,000円(卒業後3年間は無料配布、総会通知号は全会員に)

印刷／ダイコロ株式会社

大学学章



電子工学・通信工学を中心とする大学の象徴として、原子内電子軌道を図案化したものをバックに、「大学」を白抜き文字で配してある。この純白は、清廉・潔白な人材の育成と、祈りと、希いがこめられてつくられた。

スクールカラー

「モスグリーン」。若き学徒の青春の息吹をイメージしたもので「若葉が映えて、深い緑に成長する」との意味を持つ。

編集室より

■ 会員数が4万8千余名になる友電会は1965年4月に前身の学友会として発足してから今春で創立満50年目を迎えます。昨秋発刊した友電会誌121号では「思い出のアルバム」を企画し、母校草創期の写真を、とくにクラブ関係者から多く集めて掲載しました。「大学の歴史は学生が創る」として、草創期の母校キャンパスに学生のフロンティア精神の熱気があふれていた時代をご覧ください。今後も古い写真を募集します。

■ 会誌前号で紹介しました産学連携を目指して母校研究連携推進センター教員と友電会企業家同友会との交流会に続いて、今回は友電会教育懇話会の主催により昨年10月に駅前キャンパスで開催しました母校・教職志望の現役生と友電会OB教員とによる教育座談会を紹介しました。学校教育に従事する意義や教育者としてのあり方についての意識を深め、母校の発展に寄与することを目的にしたもので、『生徒の引きこもりや不登校への対応について』をテーマにした意見交換を伝えています。

■ 平成26年度友電会総会で、友電会の法人化への移行推進が決議されて、法人化への移行準備がいよいよスタートしました。まず本誌では、これまでの法人化への経緯と取り組みについて報告しています。平成20年の法改正で法人化設立のハードルが下げられたのを機会に、友電会は非営利型法人を実現し、これにより資産管理など法律上の権利能力のある団体化を図って、友電会の社会的な地位向上と活動の場を広げて、より母校への貢献と会員に共通する利益の向上を目指す目的で友電会の法人化移行への準備を決めたことについても報告しています。

廣谷 明 氏 インタビュー

教職を目指す学生のため、
友電会は取り組んでいます。

昨年10月に母校・大阪電気通信大学で開催された「現役大学生と友電会OB教員との教育座談会」の司会役をつとめた廣谷 明・友電会副会長(教育懇話会世話人、3月から学校法人大阪電気通信大学理事)に、教職を目指す学生のための友電会の取り組みについてインタビューしました。

▶ まず廣谷さんの自己紹介からお願いします

廣谷 1976年(昭和51)に工学部通信工学科を卒業(F12期)して、滋賀県立彦根西高校をスタートに、37年間高等学校教育に関わりました。工業科(電気)教員として教壇に立つかわら、生徒指導担当を主な任務として、生徒の問題行動に昼夜問わず向き合い、生徒の健全育成に取り組んできました。特に、生徒自身が問題と向き合い、自らの力で乗り越える力(課題解決能力)を高める取り組みに重点を置いてきました。

この間、滋賀県教育委員会学校教育課指導主事、定時制課程や総合学科を配置した教頭を務め、彦根工業高校校長を最後に2012年3月に定年退職しました。その後、滋賀県立大学共生センター地域連携推進グループ事務局職員として、地域の生涯学習推進のための公開講座の企画・運営に携わるとともに、非常勤講師として工業科教育法、高校家庭電気・機械の教職科目を担当しています。母校にも非常勤講師として、工業科教育法の集中講義を担当しています。

▶ 教育懇話会について?

廣谷 2009年(平成21年)に、びわこ支部で教育部会を立ち上げていました。友電会は大学支援活動として、2012年(平成24年)に「大学の出口支援」の取り組みとして、OB企業家による「企業家同友会」の活動がスタートしていました。翌13年には、大学OB教員や友電会びわこ支部教育部会の働きかけもあって、「大学の入り口支援」として在学生との教育懇談を中心とする「教育懇話会(仮称)」を立ち上げました。在学生が教育関係の職を目指すうえで、教員への意欲をより確かなものとなるよう支援することを目的に、単なる入り口支援のみでなく、学生の進路(出口)支援にも役立つよう取り組もうとしたものです。

◀ 教育への思いを語る廣谷さん





▶ 具体的な取り組みについて？

廣谷 2013年(平成25年)11月に第1回として、森石峰一准教授、横山 宏准教授の協力をいただき、寝屋川キャンパスで「人材育成と学校教育の役割について」をテーマに「教育懇談会」を開催しました。

懇談に先立ち、元中学校校長の大音博司さん(F05期卒)と滋賀県立大津高校副校長の伊藤 昇さん(F15期卒)から、教員として「良かったこと」「辛かったこと」など、心構えやあり方について、体験談を交えながら話題提供を行いました。

この日は、教職を目指す5人の在学生在が参加。その学生から、「生徒の問題行動にどう対応してきたのか」「保護者からの苦情にどう対応されたか」「教員として楽しかったことは何か」など、生徒対応や教員としてのあり方について質問が出され、教職を目的とする意欲を感じることができた懇談会でした。

2回目は、昨年10月に駅前キャンパスで「不登校や引きこもり」にスポットを当てた「教育座談会」として開催しました。大学の教務課の協力を得て、前回を上回る30人の参加が得られ、うち在學生は18人と多くの参加が得られました。

1部は、元大阪市立中学校校長の尼丁正寄さん(F08期卒)に「不登校を考える」と題して講話をいただき、「不登校はわがままではない。病気なんです。手立ては、その子に寄り添うことです」と実践から出た言葉が現役大学生の心に深く染みこみました。

また、2部では、比較的若手の現任教員である伴 慎一さん(大阪府立和泉総合高校首席、K36期卒)に「私の教職への関わり」と題して、実際の教育現場で生徒一人ひとりに真剣に向き合うこと。情熱を持って接することの大切さについて、伴さんのキャラクター溢れる人柄が多くの参加者に教員の楽しさを力強く伝える内容でした。

▶ 参加学生を対象にしたアンケートの結果はどんなものでしたか？

廣谷 参加した動機は「将来、教育関係の職につきたいから」が8割を占めていました。学生からは、「現場での話が聞けてすごくなった」「相手の目線で寄り添い、相手に向き合い、相手とのキャッチボールがコミュニケーションの基本となることを学んだ」「共感することに重要さや自身に「引き出しを多く持つ」ことの大切さを学んだ」などの感想が寄せられ、この日の参加学生の「満足度」は90点近くの高得点でした。開催者としてもやり甲斐のあ

る取り組みでした。

参加者の多くは、採用試験結果待ちの学生が多く、1ヵ月後その結果を聞くと、参加した18人中、6人が教員採用試験に合格したと報告がありました。大変喜ばしいことです。いま、いじめの問題、引きこもりの問題が、どの学校でも起きています。実社会に出て、今回の話が体験として生かされ、こういった問題にきちっと向き合いながら、熱心に取り組んでいける教員になって欲しいと思います。

▶ 教職を目指す学生たちへのメッセージを

廣谷

◆ 入学してくる学生の皆さんへ

大学には、高校までとは違って広範囲な地域から入学してきます。専門分野の学習を深めることはもちろんですが、様々な地域文化を背にした若者たちとの交わりや年齢を超えての「異年齢集団」との交わりを大学生活の中で活かしてください。とりわけ、クラブ活動に関わることは人々の生き様や文化に触れるチャンスかと思います。そのチャンス(きっかけ)を大切にしてください。これからの人生を大きく支えていくことと思います。

◆ 卒業していく学生の皆さんへ

社会の中でのあり方として、①経験や体験することから逃げない積極性と元気さを持続けてください。そして、他者の生き方に学ぶことを忘れないことです。きっと、何事にもくじけない強い自分と優しい人格が育つでしょう。②他者に「共感」できる人になってください。そのためには、自らの感性を育ててください。③「やればできる」自信を重ねながら、夢と志を大きく持って欲しい。

◆ 教育職として歩み出される学生の皆さんへ

「教育は、人間力を高めるための営みを大切」にするとこです。決して、憧れだけで教師にはなれません。目の前にいる一人ひとりの生徒と共感する心を持って向き合ってください。そして、生徒自らの生きる力を高めんがための関わりを怠らない元気さと活力をあなた自身に持続けてください。

▶ 今後の企画について？

廣谷 私たち卒業生は、後輩たちがさらに志を大きくできるよう支援していきたいし、大学の発展に寄与していきたい、そんな思いで活動を行っています。次回は、中堅のOB教員、新任のOB教員、現役学生などと学級経営や生徒指導など具体的な教員生活の問題と課題について、公開パネル討論会の開催を考えています。

大阪電気通信大学 現役大学生と

母校・大阪電気通信大学の現役大学生と友電会OB教員との教育座談会が
10月4日、駅前キャンパス5階教室で開催されました。

教育座談会は、友電会のOB教職員と将来教育関係の職を目指す学生との懇談会を通して、学校教育に従事する意義や教育者としてのあり方についての意識を深め、母校の発展に寄与することを目的としています。

この日は、学生18人と大学、友電会から合わせて約30人が参加し、「教育課題に向き合うには～シリーズ1『生徒の引きこもりや不登校への対応について』」をテーマに意見を交換しました。

座談会は、友電会の廣谷 明理事(教育懇話会世話人・元高校長)の司会で進められました。まず池本善一友電会会長が「2004年に原 一男監督(当時メディア情報文化学科教授)が引きこもりをテーマに製作したドキュメンタリー映画『私をみつめて』」が大きな反響を呼びました。いかにしたら引きこもりから脱して普通の生活に戻れるか、十分に討議してもらえればと思います」と挨拶。

また、佐野正彦教授(教務部長)が「大学の潜在力からすれば、もっと多くの学生が教職の現場で活躍できると思います。いろんな形で学生にアドバイスをいただけるネットワークをつくってあげたいのではないかと。学生の皆さんも今回の機会だけに終わらせないで、先輩教師とつながっておくことが、いろんな意味でプラスになるので、こういう機会を大事にして欲しい」と挨拶しました。

このあと、第1部としてOBの尼丁正寄先生(F08)と伴慎一先生(K36)が講話を行い、学生たちと意見交換しました。



司会の廣谷世話人



挨拶する池本友電会会長



挨拶する佐野教務部長

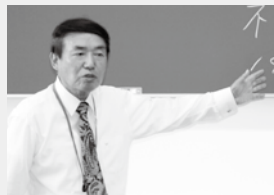
第1部

講話 I

〈テーマ〉

「不登校を考える

～不登校の子どもが自ら動く力をつけるために～」



講師 尼丁正寄先生

- ・中央学園高等専修学校顧問
- ・NHK学園高等学校教育相談員
- ・元大阪市立中学校長会会長
- ・元大阪市立都島中学校校長

退職後は、不登校の中で特に引きこもりの子どもについて週に2～3人、保護者からの相談を受けています。

【尼丁】不登校とは？

【学生】学校に行きたくても行けない状態。

【尼丁】そうです。いい答えを出してくれました。一言で不登校と言っても、いろいろあります。不登校の子はワガママではない、病気なんです。でも手立てはあります。その子どもに寄り添うことです。寄り添うためにはどうしたらいいか。結論を言うことにはなりますが、とりとめのない話ができる関係になること。言葉のキャッチボールができる関係です。

【尼丁】ストレスはどう解消しますか？

【学生】友達と遊ぶとか、趣味で…。

【尼丁】大人はできても、子どもはストレスをなかなか解消できないんです。不登校の原因は家庭にあり、学校教育や社会環境にもありますが、学校で一番多いのは友達関係、いじめです。不登校のキッカケと原因は違います。原因は家庭教育にあることが多いですが、原因がわかっても、それを解消するのは難しい。子どもを不安に押し込んだらダメです。味方がいる、心配はいらないということを相手に気付かせる、言葉のやりとりが大事なんです。

不登校の背景には、発達障害、心因性疾患など医学的問題があることも最近わかってきました。いろんなことを理解して、状況を判断して指導することが大切で、決してワガママと決めつけないことです。

不登校は親の変革で解決します。とりとめのない話を親子でできる関係、友達との関係、夫婦の関係でもそうです。お互いが認め合える関係を持つのが、非常に大切です。

《意見交換》

尼丁先生の講話を受けて、学生はじめ参加者からの質問に先生が答える形で意見交換が行われました。

【Q】起立性調整障害にはどう対応したらいいのでしょうか？

【尼丁】医学的な治療とカウンセリングを並行して行う必要があります。言葉だけでは無理です。この病気は早く気付く



駅前キャンパスで開かれた教育座談会

友電会OB教員との教育座談会

ば治ります。

【Q】登校拒否と不登校の違いについて？

【尼丁】かつては怠け以外で休んでいる人をすべて登校拒否と言いましたが、今は使いません。怠学と登校拒否の分け方ではおさまらなくなってきたので、1990年頃からひっくり返して不登校と言うようになりました。文科省は、病気と経済的な理由を除いて不登校としていますが、線引きは難しい。

【廣谷】内閣府の調査では、引きこもりは全国で約70万人。引きこもりたと思うことがある人などを含めると、150万人と言われます。

【尼丁】在籍しているケースは把握できますが、卒業してしまうとわからなくなります。

【Q】子どもとのスキンシップはどのように？

【尼丁】現実には、できません。不登校の生徒には、この言葉は使わないですね。

【Q】きょう参加している学生にとっては、レベルが高い問題で、ついていけないのでは？

【廣谷】第2部の懇親交流会でついていきます(笑)。

講話Ⅱ

〈テーマ〉

「私の教職への関わり」



講師 伴 慎一 先生
・大阪府立和泉総合高校首席

教員は忙しいです。でも、やっていてよかったと思えることが、すごく多くあります。

私は自分を「先生」とは言いません。生徒にも「先生」と呼ばなくてもいいと言ってます。敷居を下げたいからです。卒業する時に「先生ありがとう」と言ってもらえるようにしたいと、いつも思っています。皆さんも自分の「味になるもの」を一つ見つけてください。

私が教員になりたいと思ったのは、中学の技術の先生との出会いです。ユニークな先生で、実験の機械が壊れたときのパフォーマンスを見て「なんて愉快職業なんだ」と思ったからなんです。

いま採用1年目の先生の指導をしています。思うのはビジネスマナーに欠ける人が多いことです。教員は書類を提出する機会が非常に多い職業ですが、その締め切り日についての認識が誤っている人が実に多いです。「ほうれんそう」(報告・連絡・相談)のできない人、自分でスケジュールリングのできない人が多いです。

この機会に皆さんにお願いしたいことが二つあります。一つは、何でもいいです、文字を読んでください。マンガでもいいんです。マンガの吹き出し部分を全部読めばいいんです。

二つ目は教員免許の数を増やすことです。卒業してからでも取れます。大阪府では、数学・理科の先生が少ないので、免許の数が多く有利です。ステータスになります。

《意見交換》

【廣谷】自分の味を見つけるんですね。

【伴】人と違う視点を持てたら強いですよ。知識だけ持ってもオカネにはなりません。知恵にレベルアップすれば、オカネもうけにつながります。

【廣谷】先生はしんどいけど、楽しい。面倒見のいい先生はあったかいですね。それにはフットワークも企画力・段取り力も必要です。

【Q】自分のキャラクターを認めてもらうのは、最初勇気がいると思いますが、何か工夫がありますか？

【伴】関西人やろ…でいいんです。だれにでもは無理かもしれませんが。

【廣谷】伴先生のようなキャラクターは初めからあるもんじゃなくて、積み重ねていったものだと思います。それと免許の数の話がありましたが、工業の免許であれば、何でもやれないといけません。何でもやらせてもらえると思えないと。

【伴】化学をやっている人が機械で採用されるということもありますからね。

《まとめ》

* 森石 峰一 (大阪電気通信大学准教授)

尼丁先生には、難しい話をわかりやすく話していただきました。ハリポッターの中に「言葉は最高の魔法」というくだりがありますが、先生の「不登校には原因とキッカケがある。原因の解消には、とりとめのない話がでる関係が必要。言葉のドッジボール



森石准教授

じゃなくて、言葉のキャッチボールを通して、日常的に会話をしていこう」とのお話は、大変示唆に富んだものでした。

伴先生は、そのキャラクターと勢いで頑張っておられると感じました。「何か一つ色を持ちましょう、社会人になるだけのスキルを持っているか、文字を読みましょう、引き出しをたくさん持ちましょう」と提言をいただきました。

第2部 懇親交流会

第2部は、2階のラウンジに会場を移し、懇親交流会が行われました。



乾杯▶

友電会念願の法人化へ！

移行準備がいよいよスタート！



平成26年度友電会総会において、友電会の法人化への移行推進が決議されて、法人化への移行準備がいよいよスタートしました。そこで、これまでの法人化への経緯と取り組みについて述べます。

友電会法人化委員会 委員長 志村 哲 樹

1. 目的

これまで同窓会組織の友電会は母校大阪電気通信大学と緊密に連繫を保持し、その発展に協力して会員相互の親睦と研鑽を図ると共に、教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする見なし法人として活動してきました。

しかし、平成20年の法改正で法人化設立のハードルが下げられたのを機会に、友電会は非営利型法人を実現し、これにより友電会の社会的な地位向上と活動の場を広げて、より母校への貢献と会員に共通する利益の向上を目指す目的で友電会の法人化移行への準備を決めました。

今後、法人化により、資産管理など法律上の権利能力のある団体化を図って、友電会の発展を目指します。

2. 法人化に向けた取り組みの経緯

(1) 過去の取り組み

約40年前の昭和51年(1976年)から始められました。経緯は以下の通りで、会員から預かった法人化準備金もあって進められてきた法人化は諸先輩方の悲願でありました。

- 昭和51年6月の友電会総会で「会の法人化」議案を承認。
- 昭和53年6月の友電会総会で「友電会法人化のための調査活動を行う」と報告、「長期計画委員会」を発足させて検討開始。
- 昭和57年6月の友電会総会で「友電会法人化原案」を提出し「法人化のための特別委員会」を設置して、法人化の実現に向けて検討を重ねた。

- しかし、その後法律上の設立条件のハードルをクリアできず、法人化計画が中断状態となった。

(2) 法律改正後の取り組み

そんな状況が長く続いていましたが、平成20年12月に法律が改正され、設立条件のハードルが低くなり、容易に法人化の認証が受けられる様に環境が変化しました。

- 平成21年度、「法人化検討委員会」を再編成し、法人化することのメリット、デメリットの整理、法人化した時の組織と定款等を検討し、その原案まで作成したが、定款の細部の調整や登記場所などで結論が出ず、再び中断・凍結となった。

(3) 再々推進の取り組み

- 平成24年9月、法人化の検討が凍結状態になっていることに対して総会や評議員会等で度々指摘されたので、理事会は「法人化検討委員会」を再々度立ち上げた。
- 平成26年6月の総会で委員会答申が取り上げられて、



法人化移行を進める池本会長(中央)体制



法人化への移行を決めた平成26年度総会

法人化への移行推進が改めて決議された。

- 平成26年7月開催の第4回理事会で「法人化委員会」の設置が決まり、法人化委員長に志村哲樹氏(F07組織部会長)、理事会からの法人化委員に以下の6名が また評議員会からも、下記の1名が選出され、計7名の委員で法人化への移行取り組み活動が開始した。

《友電会理事会選出委員》

- * 福 田 武氏(E02九州支部支部長)
- * 藤 本 明氏(I06)
- * 山崎洋一郎氏(H10)
- * 岡 本 清 孝氏(H11)
- * 柴 垣 佳 明氏(D33総務・財務部会長)

《友電会評議員会委員》

- * 青 木 政 治氏(E01)

なお、昨年6月の友電会総会での決議に従い、以下法人化委員会を3回開催して、着々と法人化への移行に向けて準備を進めております。

- 平成26年9月20日(土) 第1回法人化委員会開催
- 平成26年10月19日(日) 第2回法人化委員会開催
- 平成26年12月14日(日) 第3回法人化委員会開催

3. 友電会が目指す法人化の姿

友電会が目指す法人化の種類は同窓会活動に相応しい「非営利の一般社団法人」を考えています。一般社団法人へ移行されたと、法律上現在の友電会定款の一部を変更する必要があります。

大きな変更部分は、友電会の最終決議機関である「友電会総会」が「社員総会」に変更されます。社員総会の出席条件は過半数となっており、現状約4万5千人に膨れ上がった友電会会員全員に社員となって頂くのが原則ですが、半数の出席は期待出来る状況に無いと思われます。

したがって、その対応として司法書士からアドバイスを頂いた代議員制を採用し、現在評議員となっている方々に代議員制社員となって頂く方向で検討しております。

今後とも、友電会会員の皆様のご支援を宜しくお願い致します。

参考に現状の友電会組織と一般社団法人移行後の組織の違いを下図に示します。

《 現状の友電会組織 》

理 事 会

評 議 員 会

総 会



《 一般社団法人組織 》

理 事 会

社員総会(代議員制)

平成26年度 大阪電気通信大学友電会

支部 だより

九州支部 総会・懇親会・研修会

～福岡市と韓国で開催～

大阪電気通信大学友電会九州支部は、平成26年度総会・懇親会を9月27日(土)に福岡市(博多駅前都ホテル)で開催し、引続き28日(日)まで研修会を韓国釜山広域市で行いました。



都ホテルでの平成26年度 総会・懇親会での記念写真

当日は心配した台風も早々に去り、素晴らしい天候のもと大学からは池宮達雄事務局長、本部からは池本善一会長、志村哲樹組織部会長、関東支部から観野福太郎氏が参加し、15人で実施することができました。

懇親会では、参加者が昭和41年～平成6年卒まで約30年の差はあるものの、大学の現状や各自の近況報告を聞きながら、終始和やかに1時間半の名残惜しい時間ではありましたが、来年の再会を期して閉会しました。

【韓国釜山での研修会】

平成26年は支部設立5周年にあたり、研修会を韓国釜山広域市で行い、総会参加者のうち8人が参加しました。便は、往復とも博多港から高速船を利用し、台風一過の対馬海峡を約3時間、揺れもなく、免税酒を飲みながらの快適な船旅でした。

釜山市では、6期卒の小松周治氏が豊富な経験を基にガイド役を引き受け、ツアーでは行けないような韓国本来の場所へ案内。また、11期の田中氏がグループで8人分の夕食代を稼ぐなど、約22時間の滞在時間でしたが、話題豊富で充実した研修となりました。10周年にはソウル市での研修を期して、釜山港を後にしました。

東海総支部研修会実施報告

～中部国際空港ツアーと常滑焼きの産地を見学～

平成26年10月11日(土)、大阪電気通信大学友電会東海総支部は「ものづくりの東海の玄関を知る」をテーマに、愛知県常滑市の中部国際空港(セントレア)の「滑走路まるわかりツアー」と、1000年続く歴史ある常滑焼きの産地を見学する研修会を行いました。研修会には、愛知県、三重県在住の会員で1期生から22期生まで総勢11人が参加しました。



ツアーを案内してくれたガイドと全員で記念写真

セントレアの滑走路見学ツアーでは、普段は関係者以外立ち入り禁止エリアへバスで侵入し、離発着する航空機を間近で見ることができる国内空港ではセントレアでしか味わえない貴重な体験ツアーです。

セントレアの滑走路見学の申し込みに際してはセキュリティが厳しく、事前に住所・氏名・年齢・生年月日・電話番号を登録。当日は特別待合室に集合し、セントレアのツアーガイドから細かい説明を受けた後、身分証明書の本人確認と警備員による持ち物検査およびボディチェックを受けました。まるで出国検査のようです。チェック終了後バスに乗って出発ですが、滑走路入口のゲートで再度警備員によるチェックを受け、やっと滑走路に入ることができました。

バスが滑走路内に入り、ターミナルに止まっている飛行機を間近に見ながらバスは進みました。空港島を1周する中間点でバスから降り、離着陸する飛行機を100mの近距離から見学することができました。さらにエンジン全開の迫力ある音と飛行機が離陸する瞬間を、滑走路の目線から見ることで感動しました。

セントレアの滑走路見学ツアーの後には、名鉄電車で2駅の常滑駅で下車。やきもの散歩道を歩き、常滑焼きの作品

や大きな窯跡を見学しました。



◀陶磁器会館前で記念撮影

関東総支部 神奈川支部 総会・懇親会

～「知的財産権の種類と保護の仕組み」岩本氏が講演～

平成26年度の大阪電気通信大学友電会関東総支部、神奈川支部の総会が10月18日、東京都文京区のホテル東京ガーデンパレスで開催されました。総会後の懇親会には来賓として母校から成瀬 淳理事長ら5人、友電会本部から池本善一会長ら4人も参加して、北関東・茨城・千葉・神奈川の各支部会員と交流を深めました



成瀬理事長ら来賓を囲んで、総会・懇親会後に記念撮影

【神奈川支部総会】

総会・懇親会は深野隆司氏(関東総支部副支部長、I09)が司会をつとめて、まず神奈川支部総会(守上芳士支部長、E05)が開かれ、平成25年度事業報告・決算報告、26年度事業計画・予算案を承認。新支部長に田谷利明氏(F07)、そして副支部長に川口明良氏(F04)、事務局長に大原 洋氏(F14)、監事に中野正三氏(E05)を選ぶ役員案を承認しました。

【関東総支部総会】

続いて関東総支部の総会が開かれ、平成24～25年度事業報告・決算報告、平成26年度事業計画・予算案を承認。次のとおり役員を選出しました。



山口支部長

▽支部長：山口文男(H07)▽副支部長：深野隆司(I09)▽事務局長：竹内和生(I23)▽幹事：竹田治英(F19)、緒方康祐(F05)、海野 徹(K18)、井上兼利(E06)、北地憲治(E10)▽北関東支部長：山口文男▽茨城支部長：木村功一(F09)▽千葉支部長：佐藤渉一(I10)▽神奈川支部長：田谷利明(F07)▽監事：吉田栄治(F02)、島田慎太郎(H16)



総会の議場

【講演】

総会後、「知的財産権の種類と保護の仕組み」をテーマに、岩本吉男氏(F05)による講演会が行われました。岩本氏はNTTに在職27年、知的財産保護に携わり、退職後もこの分野で活躍しています。



講演する岩本氏

講演では、①知的財産権とは②身近に存在する知的財産③知的財産権の種類と保護について、「知的財産のかたまり」であるノートPCを例にとり、わかりやすい解説が行われました。また、講演のあと「知的財産保護についての日本と外国の違い」「特許についての企業と個人の関係」などについて質疑が行われました。

岩本氏は埼玉県山岳連盟の理事をつとめるなど山登りが趣味で、2016年から実施される国民の祝日「山の日」(8月11日)の意義についても紹介しました。

【懇親会】

懇親会も深野氏の司会で進められ、まず来賓の紹介が行われました。

山口関東総支部長が「母校から離れた地域にいますが、母校の発展の一翼を担うという心意気を持っています。一人ひとりが何ができるか、小さなことであっても何ができるか考えていただければ…と思います。本日は来賓の方から母校の様子もお話しいただけるとと思います」と挨拶し、続いて来賓の池宮達雄大学事務局長、成瀬 淳理事長、池本善一友電会会長がそれぞれ挨拶して、前関東総支部長・佐藤渉一氏の発声で乾杯、宴に移りました。

*池宮大学事務局長

「27年度の入試がスタートしましたが、いまのところ前年比10%くらい志願者が増えています。就職率も昨年より10%上回っています。

教育改革の要請が強まっており、種々取り組んでいます。4月から学校教育法が変わり、大学のガバナンス力の充実が求められます。学長のリーダーシップの確立と教授会の役割の分担の明確化です。今後ともご支援、協力お願いします。」

*成瀬理事長



成瀬理事長

「9月29日に理事長に就任しました。2年前にもこの会に参加しています。5年前から理事をつとめ、監事をやったりしていますので、これまで皆さまともご縁がありました。

日立製作所に入って40年間、HDDの設計などで同窓にもお世話になったことがあります。アメリカにも転勤し、IBMのHDD部門を買って、初代のCEOをつとめ、6年海外にいました。企業

にとって、大学にとってもそうですが、一番大事なものは人材です。大学にはお世話になりました。

グローバルに見ると、日本の大学教育にはいろいろな問題があります。文科省のガイドラインにも出てきましたが、タイミングよく、新しい展開をする時期じゃないかと思えます。大学は橘学長を中心に頑張っています。法人も全面的にバックアップしていきます。

一番重要なのは、信頼関係の樹立だと思います。このためには普段からいろんな意味での対話が必要です。学部に分かれ、キャンパスも分かれているなど、どうしてもコミュニケーションが取りにくい環境にあります。境界を取っ払って信頼関係を樹立することをベースに組織改革をやっていききたい。これがないとうまくいきません。

理事長室に、ぶらっと寄ってください。私も現場に行きます。全学をあげてコミュニケーションを一体となってやっていきます。当然、友電会の皆さんとも一体となって、組合の皆さんとも話をしましたが、一体となってやっていきましょう。どうやったら学園がさらに発展するか、フランクに何でも言い合いましょう。人間、みな欠点がありますが、皆さんの知恵を集めていい方向に展開していけば、必ず発展は間違いないと確信しています。密な会話、何でも言い合える環境ができると、さらなる成功は間違いありません。OBの方々からも、さらに一層、お知恵を頂いて、ざっくばらんに議論し、一体となっていこうと思います」

* 池本善一友電会会長



池本善一会長

「6月に友電会会長に選出されました。昭和63年から平成5年まで関東にいて、関東支部の副支部長。千葉支部や茨城支部の立ち上げに関わりました。思い出の深いものがあります。悲願だった法人化をなんとか成し遂げたい。企業家同友会を開催して企業と先生との話し合いの場を設けたり、学校の先生のタマゴを集めて卒業生の先生との交流会を催すなど、就職支援を行っています。今後も様々な形で大学の発展に寄与したいと考えています。」

懇親会の合間に挨拶が続きました。

* 網屋雅信法人事務局長

「友電会の皆様に非常にお世話になっています。感謝申し上げます。

成瀬新理事長から信頼関係の樹立という話がありましたが、今後ともよろしくお願いします。」

* 猿渡 洋前友電会会長(F02)

「4年間担当して、難しい話、楽しい話、いろいろあり、いい経験をさせてもらいました。(移動で)体力的にはしんどかったが、精神的にはいい勉強をさせてもらいました。みんなといい交流ができて、これから、もっといい友電会、大学になりそうだなとの感触をつかみながら、退くことができました。多くの皆さんと今後も交わっていければと思っています。」

* 大下真二郎氏(F04)

「大阪電気通信大学の卒業生には社長が多い。自分で会社を興して上場企業に成長させた人もいます。私もいまの研究を成し遂げたい。」

大下氏に理事長が歩み寄って「偏差値など気にすることは無い。社長が多いということ、学生に言って欲しい。日本の教育にできなかったことが、我々にはできる。」と共感。

* 石塚明美さん(I25)

「今回は年代の近い人や女性に、もう少し集まってもらおうよう尽力したい」



石塚明美さん

* 辻 琢磨氏(D49)

「諸先輩と話して知見を広めようと参加しました。楽しいです。」

理事長とは石井教授を介して「バラのサロン」という討論会で勉強させていただきました。総会・懇親会には引き続き今後も参加したいと思います。」



辻 琢磨氏

* 太極拳演舞

有井道信氏(I05)

「太極拳は始めて12年になります。最初に意識、2番目に呼吸、そして動作、これが基本です。」



歓談

京都支部 見学会・総会・懇親会

～副支部長に兵藤氏を選任、京都府庁旧本館を見学～

大阪電気通信大学友電会京都支部の平成26年度支部総会(段安義彦支部長、F06)が11月15日、からすま京都ホテル(京都市下京区)で開催されました。総会では、昨年村瀬支部長の死去に伴い、段安氏が支部長に就任したため空席になっていた副支部長に兵藤敏夫氏(E06)が選ばれました。また総会に先立ち、旧本館竣工110周年記念事業・観芸祭を開催中の重要文化財・京都府庁旧本館を有志で見学しました。

【見学会】

京都府庁旧本館の見学会には段安義彦支部長(F06)ら12人が参加し、1905年(明治38年)から1971年(昭和46年)まで蜷川虎三知事ら24人の知事が使用した旧知事室、第1期修復整備が終わり一般公開された旧議場、秋の府庁旧本館彫刻展などを見てまわりました。



京都府庁旧本館前で記念撮影



旧議場に座って…

【総会】

総会は奥田 裕氏(H20)の司会で進行しました。村瀬前支部長の1周年忌に当たるため、全員で黙祷したあと、段安義彦支部長(F06)が「村瀬支部長が亡くなられて1年。本当に頼りにしていただけに、私自身、力至りませんが、皆さんの協力をいただいて、続けていきたいと思えます。」と挨拶しました。続いて友電会本部の辻 佳彦副会長(H13)、志村哲樹理事(組織部会長、F07)、来賓の池宮達雄大学事務局長が挨拶。藤原公彦氏(E04)が議長に選ばれて議案の審議に入り、平成25年度活動報告・会計報告、平成26年度活動予算が承認されました。

また、段安支部長が空席になっていた副支部長に兵藤敏夫氏(E06)の選任を提案し、承認されました。



段安支部長



辻友電会副会長



全員で記念写真

【懇親会】

懇親会は南 茂夫元学長の発声で乾杯。澤居比佐夫びわこ支部長(H17)、小笹教授(就職部長)が挨拶したほか、下野哲生氏(9期生)のミニコンサートで宴会は盛り上がりしました。今回は、支部創立14年目となる京都支部を創設した一人で、現在病氣療養中の湯場崎直養氏がご夫婦で参加されて、皆さんも健康には気を付けるようにと元気に語っていました。



南元学長の発声で乾杯

【下野哲生氏 ミニコンサート】

歓談の途中、下野哲生氏(9期生)のミニコンサートを開きました。下野氏は学生時代軽音部にてカントリーバンド、カントリーメイツに所属していました。大学対抗OBバンド大会ではカントリーメイツOBバンドとして2回参加したという腕前でしたが、今も現役で活動しているという。演奏はコットンフィールドやテネシーワルツなどを軽快にギター演奏で唄い、出席者も手拍子を交えて唄っていました。演奏最後には、ご夫婦で出席された病氣療養中の湯場崎氏のために、ハワイアン・ソングのブルーハワイをジャンルの違いで慣れていないと言いながら、吉岡氏と山口氏を交えて、これも軽快に唄いきって喝采を浴びました。



【大学歌斉唱】

エンディングの締めは、恒例の母校・大学歌斉唱を今回は応援団OBの井平佳秀氏のリードで行い、無事総会を終え、来年の再会を期して散会しました。

祝 入学 卒業



代表取締役 辻 弥寿彦

株式会社 アドバン理研

〒614-8128 京都府八幡市下奈良野神40番地の1
TEL(075)972-3838 FAX(075)983-4400
E-mail: tsuji@adriken.co.jp
URL: http://www.adriken.co.jp/
携帯: 090-2598-7955



株式会社 ニューリー・土山

代表取締役社長

野口 光裕

●E-mail: noguchi@newly-t.com

〒528-0211 滋賀県甲賀市土山町北土山979番地
TEL.0748-66-1681(代) FAX.0748-66-0915
URL: http://www.newly-t.com/

代表取締役社長/CEO

山崎 貞彦

E-mail: yamazaki@jams.co.jp
プロフェッショナルCFO(日本CFO協会会員)
FP2級中小企業事業主(日本FP協会)



通信・制御・画像分析技術とマイニングサービスで社会に貢献する
日本マイクロシステムズ株式会社

本社管理部門/ICTS事業部/KCS事業部/FS事業部
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目1番14号 高麗橋山本ビル2F
Phone: 06-6227-4002 Fax: 06-6227-1960
システム開発センター/IV事業部
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目1番14号 高麗橋山本ビル3F
Phone: 06-6227-4003 Fax: 06-6227-1960
名古屋営業所
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目2番32号 錦アクシスビル7F
Phone & Fax: 052-973-2110

学生さん! 企業訪問等で来京の折は事前に御遠慮なく
コンタクトしてください!
サポート & サービスをさせていただきます。

大阪電気通信大学 法人評議員会

常任議長 観野 福太郎

〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-9-701
TEL: 03-5770-5105 FAX: 03-5770-5106
携帯: 090-7003-6126 Mail: kanno.ibk@gmail.com



テクサジャパン株式会社
We aim at a needed company.

大阪電子クラブ主宰

技術開発顧問 臼 井 宏

テクサジャパン株式会社

〒663-8126 兵庫県西宮市小松北町2-8-21
TEL: 0798-40-7862 FAX: 0798-39-8599
携帯: 090-4568-8563 URL: www.texa-j.co.jp
Facebook: www.facebook.com/texa.japan
E-mail: odc4029@zeus.eonet.ne.jp



思い出と感動の新しいフォトエッセイ
ライフグラフ

Lifegraph®

一冊からつくれる
あなたの「写真集」

※詳しくはホームページをご覧ください。 http://www.daicolo.co.jp

思い出メーカー
ダイコロ株式会社

大阪本社 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 ☎06-6944-6311
枚方営業所 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近2-8 ☎072-867-3431
東京・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡・松山

日本商業写真家協会
加盟の写真館で承ります。
http://www4.big.or.jp/~jcpa/



IT 機器・通信機器の販売・サービス&サポート保守
システム機器・オフィス機器の販売

営業職・技術職 社員募集中

キヤノンの複合機をメインにOA機器等の導入やネットワーク構築など
オフィスの効率化の提案。コスト削減に繋がる提案。
お客様のさまざまなニーズに合わせこれからのオフィス環境を提案。
貴大学出身者が現在12名在職しております。

特徴とは
イナハラの

1. メーカーにとらわれない独立系の専門商社！
2. 営業・技術・メーカーとの連携の強さ！
3. 学歴・年齢・男女関係なく、実力を最大限評価！
4. 研修制度（社内、社外研修）の充実！



inahara

株式会社 **イナハラ**

昭和46年度卒業生
監査役 稲原廣法

〒651-0086 神戸市中央区磯上通4-1-26 TEL. 078-231-4088

URL: <http://www.inahara.co.jp> 採用問い合わせ ▶ 総務部 前田

相学院高等学校
夢の実現と勉学が両立で
きる通信制高校。
プロスポーツ選手・有名
大学進学者多数！

情報技術学院
即戦力となる SE・プログ
ラマーを養成する学校を
運営。

スマートフォン
アプリ開発
大人も子供も喜ぶゲーム
アプリの企画開発を行
います。



ソフトウェア開発
システム開発の提案・設
計からサポートまで。

アウトソーシング
大手企業との提携による
ソフト開発のアウトソー
シングを行います。

オークション
代行販売
あなたに代わりオークショ
ン販売代行をします。

FCS 富士コンピュータ株式会社

相学院高等学校 UDT 情報技術学院
東京・大阪・神戸・明石・加古川・姫路・相生

兵庫県加古川市加古川町稲屋790-1

<http://www.fujicomp.co.jp> 079-427-1111

中学校技術家庭科教材

プログラムによる計測・制御の学習に最適！

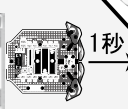
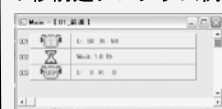
自律型ロボット製作キット

ティ・ジェイ・スリー・ビー

TJB

C-Style

1秒前進プログラム例



アイコンを選ぶだけで簡単プログラミング

安心して使える

<http://www.daisendenshi.com>

大阪 日本橋 株式会社ダイセン電子工業 TEL 06-6631-5553

～食の安心・安全を支える～

「食品中の放射性セシウム測定装置」
FD-08Cs100 シリーズ

「蛍光X線を用いた食品中の重金属測定装置」
FD-03,FD-08Cd

の開発を通して社会に貢献しています



テクノエックスはJSTの開発委託を受け大阪電気通信大学と共同で
「複雑形状食品の放射能検査装置」の開発しています



株式会社 **テクノエックス**

株式会社 **オンテック**

ONTEC CO.,LTD.

プリント回路関連事業

- プリント基板設計事業
- プリント基板製造事業
- プリント基板実装事業
- EDMS事業

システムソリューション事業

- エンベデッド事業
- ビデオコミュニケーション事業
- 特機事業

本社

〒564-0062
大阪府吹田市垂水町3-20-27
TEL 06-6338-8581
FAX 06-6338-8593

ontec

<http://www.ontec.co.jp>



平成26年度友電会役員

(平成27年1月末日現在)

平成26年度の友電会役員は平成26年度総会で理事16名と監事3名および顧問3名で承認されたあと、11月1日、1月24日に開催した友電会理事会・評議員会で理事6名が新たに補充されて理事21名となり、監事も1名交代に伴う更新版です。

● 会 長

・池本善一 (E02)

● 副会長

・廣谷 明 (F12) 広報部会担当、法人評議員
 ・川口明良 (F04) 組織部会担当、法人評議員
 ・辻 佳彦 (H13) 事業部会担当

● 事務局長

・安 弘 (F01) 総務・財務部会担当

● 総務・財務部

・柴垣佳明 (D33) ◎
 ・稲原廣法 (E07) 法人評議員
 ・幸村常一 (H16) △ 神戸支部長

● 組織部

・志村哲樹 (F07) ◎ 東海総支部長
 ・福田 武 (E02) 九州支部長
 ・山口文男 (H07) 関東総支部長、北関東支部長
 ・岡本清孝 (H11)
 ・山崎敏之 (F14) △

● 事業部会

・森石峰一 (F14) ◎△
 ・藤本 明 (I06) 法人評議員
 ・水谷元也 (E08) △
 ・山崎洋一郎 (H10)

● 広報部会

・藤田英治 (E22) ◎
 ・段安義彦 (F06) △ 京都支部長
 ・野田鐘一 (F07)
 ・澤居比佐夫 (H17) △ びわこ支部長

● 監 事

・守上芳士 (E05) ・澤井 剣 (G24)
 ・尼丁正寄 (F08)

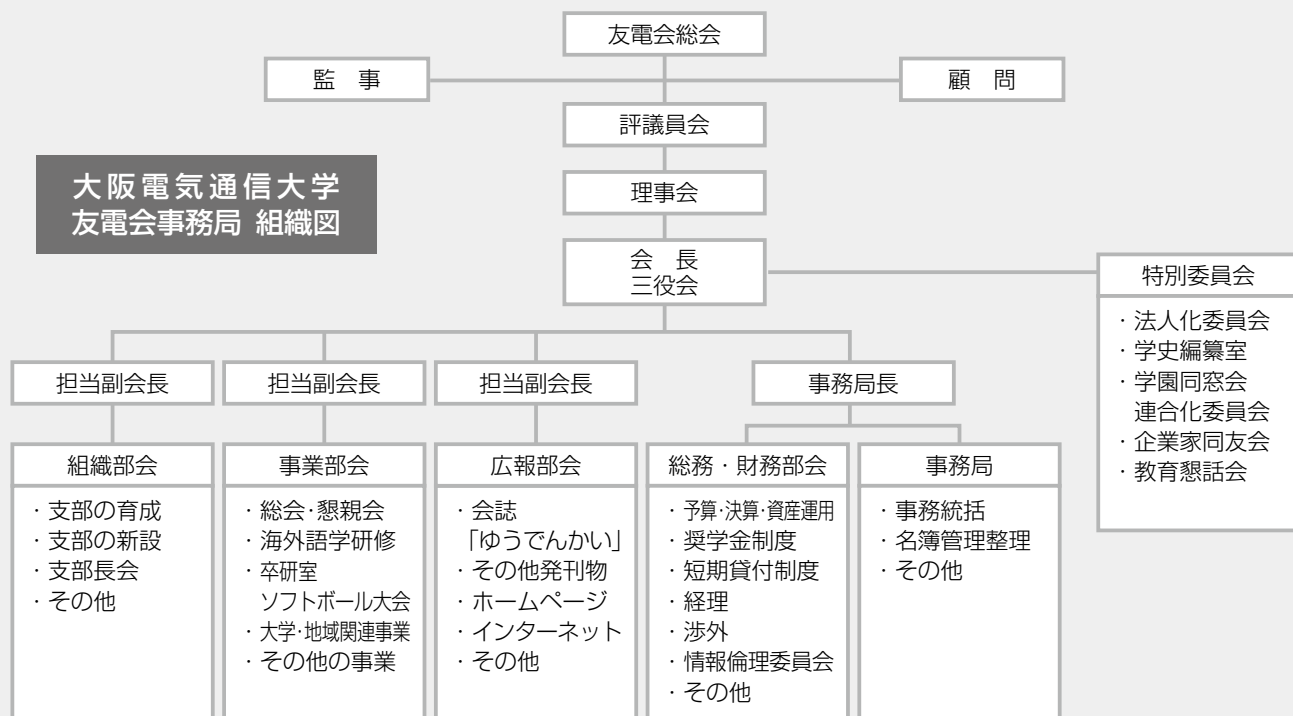
● 顧 問

・臼井 宏 (E01) ・猿渡 洋 (F02)
 ・宮本公明 (F03) ・中西義一 (E04)
 ・中山 修 (F06)

◎印は部会長 △印は新任理事

■ 友電会支部と支部長 支部名 支部長・卒業学科・期

関東総支部	山口文男 (H07)	東海総支部	志村哲樹 (F07)	奈良支部	松井俊樹 (I13)
北関東支部	山口文男 (H07)	静岡支部	久保田陽一 (F05)	神戸支部	幸村常一 (H16)
茨城支部	木村功一 (F09)	石川支部	辻 久也 (I13)	三田支部	小西 巖 (F02)
千葉支部	佐藤渉一 (I10)	びわこ支部	澤居比佐夫 (H17)	九州支部	福田 武 (E02)
神奈川支部	田谷利明 (F07)	京都支部	段安義彦 (F06)	北米支部	高岸英人 (F17)

大阪電気通信大学
友電会事務局 組織図

《学生団体一覧表》 (工学部・情報通信工学部・医療福祉工学部・総合情報学部・金融経済学部生所属)

●自治会直属団体

	団 体 名	顧問教員	団体責任者氏名	人数	(新入部員)	加盟学外団体名
1	吹奏楽団	ヒルド・ミハエル	武 知 誠 也	21	(5)	全日本学生吹奏楽連盟、関西学生吹奏楽連盟、四條畷市吹奏楽関係団体連絡協議会
2	応援団				()	

●体育会所属団体

	団 体 名	顧問教員	団体責任者氏名	人数	(新入部員)	加盟学外団体名
1	空手道部	森 下 克 己	北 畠 叶 也	6	()	全日本空手道連盟剛柔会
2	ラグビーフットボール部	辻 谷 将 明	松 田 晃 享	16	(7)	大阪府ラグビーフットボール協会
3	硬式野球部	金 田 啓 稔	笠 舞 一 騎	61	(24)	阪神大学野球連盟
4	ソフトテニス部	海老原 聡	小 谷 眞 之	40	(18)	日本学生ソフトテニス連盟、関西学生ソフトテニス連盟、大阪学生ソフトテニス連盟、寝屋川市ソフトテニス協会
5	弓道部	足 立 英 郎	小 岩 裕 亮	31	(15)	全日本・関西・大阪府学生弓道連盟、大阪府弓道連盟
6	卓球部	湯 口 宜 明	花 房 秀 次	21	(6)	日本卓球協会、関西学生卓球連盟、大阪卓球連盟
7	柔道部	榎 本 博 行	六 車 大 河	8	(1)	全日本・大阪府柔道連盟、全日本理工科・関西・大阪府学生柔道連盟
8	剣道部	日 坂 真 樹	堀 祐 也	13	(7)	全国・関西・大阪府学生剣道連盟、大阪府剣道連盟
9	バレーボール部	西 岡 昇	長谷川貴俊	23	(10)	日本バレーボール協会、関西大学バレーボール連盟、大阪府学生バレーボール連盟
10	少林寺拳法部	浄 慶 一 之	近 藤 由 規	6	(3)	関西学生少林寺拳法連盟
11	サッカー部	堀 井 大 輔	井 登 翔 太	20	(4)	全日本大学サッカー連盟、関西学生サッカー連盟、大阪府サッカー協会
12	男子バスケットボール部	松 田 正 貴	大 倉 拓 哉	24	(10)	日本・大阪バスケットボール協会、全日本大学バスケットボール連盟、関西・大阪学生バスケットボール連盟
13	女子バスケットボール部	市谷浩一郎	大 場 咲 野 香	12	(2)	全日本・西日本・関西女子・大阪学生バスケットボール連盟、四條畷市民大会バスケットボール連盟
14	合気道部	萬 代 武 史	松 浦 武 嗣	17	(9)	合気道錬身会
15	陸上競技部	村 木 有 也	石 川 司	22	(8)	関西学生陸上競技連盟
16	ゴルフ部				()	
17	自動車部	森 幸 治	松 永 拓 也	24	(16)	JAF
18	硬式庭球部	高 橋 保 則	國 本 亮	12	(1)	関西学生テニス連盟
19	バドミントン部	石 井 徳 章	山 本 颯 人	13	(5)	関西・大阪学生バドミントン連盟
20	サイクリング部	柴 垣 佳 明	櫻 井 良 洋	16	(6)	西日本・近畿サイクリング連盟
21	スキー部	高 橋 保 則	田 中 良 佳	11	(8)	関西学生スキー連盟
22	ハンドボール部	神 崎 和 男	望 月 洋 佑	14	(1)	日本ハンドボール協会・関西学生ハンドボール連盟
23	軟式野球部	鴻 巣 敏 之	小 島 寛 明	28	(10)	西都大学軟式野球連盟
24	アメリカンフットボール部	吉 田 正 樹	松 下 稜	32	(9)	関西学生アメリカンフットボール連盟
25	スノーボードサークル	青 沼 秀 児	今 西 優 弥	15	(3)	
26	フットサルサークル	来 海 暁	東 野 寛 夢	16	(5)	
27	アルティメットサークル	山野加代枝	小 川 楓 矢	15	(13)	
28	水上競技サークル	中 田 亮 生	大 谷 崇 之	15	(5)	
29	日本拳法サークル	原 田 融	小 泉 勇 人	18	(3)	
30	アームレスリングサークル	平 沼 博 将	四 方 秀	6	(1)	JAWA アームレスリング協会
31	エクストリームスポーツサークル	小 枝 正 直	平 川 貴 大	5	()	
32	ソフトボールサークル	小 森 政 嗣	中 沼 龍 輝	14	(14)	

●文化会所属団体

	団 体 名	顧問教員	団体責任者氏名	人数	(新入部員)	加盟学外団体名
1	軽音楽部	立 本 秀 洋	和 泉 佑 太 郎	44	(17)	
2	ギターマンドリンクラブ	土 居 元 紀	秋 山 風 哉	23	(9)	大阪学生マンドリン連盟
3	SF研究会	新 関 雅 俊	土 井 祐 治	49	(17)	
4	電子技術研究部	吉 田 晴 行	中 村 太 一	16	(3)	
5	放送研究会	渡 邊 俊 彦	藤 田 真 喜	33	(10)	関西学生放送連盟
6	通信研究会	樋 口 英 世	東 川 誠	27	(11)	
7	テレビ研究会	松 浦 秀 治	土 山 慎 太 郎	7	()	
8	映画研究会	生 田 孝	坂 田 達 哉	47	(21)	関西シネック
9	管弦楽団	前 川 泰 之	向 田 和 輝	13	(7)	
10	電子計算組織研究会	小 南 昌 信	三 尾 敏 幸	35	(12)	
11	天文愛好会				()	
12	文道部	坂 本 知 宏	浅 井 涼 太	21	(8)	
13	デザインコミュニケーション部 WAVE	上 田 和 浩	榎 原 悠 真	7	()	
14	コミックアート	沼 田 哲 史	三 田 啓 介	33	(12)	
15	ストリート同好会	坂 田 定 久	多 田 知 史	11	(5)	
16	奇術愛好会	森 田 成 昭	小 西 孝 典	5	()	
17	美術愛好会	西 村 純 一	藤 見 佳 奈	7	(1)	
18	Photo 同好会	村 上 恭 通	山 田 晃 由	9	(3)	
19	ボランティア同好会	早 坂 昇	松 田 竜 弥	5	()	

※ ☐ 箇所は休部中の学生団体を示す。

※ () 内は、部員数のうち、新入生の人数を示す。

学生団体加入状況

	学生数	新入生数
自治会直属団体加入者数 [名]	21	5
体育会所属団体加入者数 [名]	574	224
文化会所属団体加入者数 [名]	392	136
加入者総数 [名]	987	365
加入者比率 [%]	18.94	26.74

2014年度団体異動

新設団体	ソフトボールサークル、アームレスリングサークル、エクストリームスポーツサークル、ボランティア同好会
復帰団体	アルティメットサークル、水上競技サークル、日本拳法サークル
休部団体	応援団、ゴルフ部、天文愛好会
廃部団体	なし
昇格団体	なし
降格団体	なし

平成26年11月1日(土)～3日(月・祝)

今年のテーマ

大阪電気通信大学

第54回

大学祭開催

11月1日(土)～3日(月・祝)の3日間、「僕(♂)私(♀)のお祭り論」をテーマに、母校・大阪電気通信大学の第54回大学祭が寝屋川キャンパスで開催され、この会期に合わせて、卒業生が集うホームカミングデーや最先端の科学技術をわかりやすく紹介するテクノフェア、電通大杯を競うヒト型レスキューロボットコンテストなど、多彩なイベントが寝屋川・駅前両キャンパスで行われました。

大学祭は1日午前10時、あいにくの雨模様の中、中庭ステージでオープニング。来賓の橘 邦英学長、高岡大造学生部長、池本善一友電会会長、岡本清孝クラブ同窓会会長、坂本英彦第54期常任自治委員会委員長の挨拶のあと、丹羽力也第54期大学祭実行委員会委員長が開会宣言を行い、3日間の幕を開けました。

にぎわうB号館跡地の模擬店

通用門に設けられた
歓迎のゲート

今年も学生有志と学生課が東日本大震災復興支援ショップで、青森県の「八戸せんべい汁」と岩手県「宮古の海プリン」を販売

恒例の
「感電ラーメン」

エレクトロニクス展



エレクトロニクス展

ホームカミングデー

平成26年度の大阪電気通信大学ホームカミングデーが、
大学祭開催中の11月1日(土)、寝屋川キャンパスで開催されました。

★ 式典

エデュケーションセンター(J号館)6階小ホールで行われた式典では、橘 邦英学長、成瀬 淳理事長が歓迎の挨拶を述べたあと、工学部環境科学学科の齊藤安貴子准教授が「食品の三次機能『疾病の予防』に向けて」～化学の力を使った新たな食に関する研究～をテーマに講演を行いました。

◆ 挨拶：橘 邦英学長

「皆さん、ようこそ母校へお帰りくださいました。この催しは今年で3回目になりますが、昨年度は3Dセンターを見学していただきました。このセンターも随分発展しまして、今年も文科省か



ら新しい予算がつき、フルカラーの3Dプリンターが年度内に入ることになっています。今年は新しい理事長からも挨拶があります。また、本学で売り出し中の女性教員の講演があります。バイオケミストリー、それをさらに発展させて食品とか食物をエンジニアリング的にアプローチしていく分野を強化していきたいと考えています。その分野の話聞いていただけます。今後とも、先輩方のお知恵を拝借しながら、末永く生き残っていける大学にしたいと考えています。」

◆ 挨拶：成瀬理事長

「5年ほど前から理事として、また監事として、外からではありますが、この大学の状況をいろいろ聞かせていただいております。私自身は日立で40年間、磁気ディスクの設計・製造・販売、そして会社の経営に携わってきました。会社も大学も同じだと思いますが、何が一番大事かというと、人材の育成、これしかないと思います。この大学を見ると、まさに実学の大学として地道に現場に役に立つことをやっている。先輩の皆さんは実際に高い評価を得て

おられる。これから、この皆さんの築いてこられた伝統、そしてヴァリューをいかにして大きくしていくかという時期だと思う。皆さんと一緒に、さらにヴァリューを高めていこうと思っています。是非とも引き続き皆さんの支援を得ながら、さらなる発展、実学の大学としてさらに大きく飛躍する、人材を世に輩出することにフォーカスをあてていきたいと考えています。」



◆ 講演：齊藤准教授

「5年前、環境科学科でバイオ系、食品系を立ち上げるために教員として参りました。以来4年間、学生たちが必死になって実験してくれた結果を少しお話ししたいと思います。

私の専門は元々有機合成化学という化学系です。ターゲットが食物の中に入った物質、いろいろな食品を扱ったり、食品に関する授業を受け持っております。

まず「食べる」ということと化学に何の関係があるのかをお話しします。私たちは日々食事をします。なぜか。おいしいから、食べないと死ぬからということがあります。そういった気持ちの問題ではなく、体に必要な化学物質を効率よく体内に取り込む。これが食べるということの本質になります。これを科学的に証明します。

私たちの体は小さな小さな細胞から成り立ってます。その細胞の一つ一つが有機化合物を分解してエネルギーを取り出して、例えば砂糖を分解して水と二酸化炭素にします。細胞1個1個が分解したものを肺に集めて輩出するのが二酸化炭素。食べるということは、細胞1個1個が私たちが生きて行けるように化学物質を取り込むということなんです。そのためにエネルギーだけではダメなので、体にある物質が機能するように助けになる物質を外から取り出します。すべて化学物質でできてます。

身の回りのものはすべて化学物質でできています。

食べるときに一番大事なものは、おいしいとか、まずいとかの感覚です。これは脳の命令に従っているにすぎません。化学物質を効率的に摂取するための感覚です。においも同じです。甘いという感覚には私たちは鈍感です。エネルギー源となる化合物に私たちは鈍感なのです。甘い、苦いという感覚も舌の上で化学物質がタンパク質に結合し、構造が変化します。その変化が神経に伝わって電荷として脳に刺激が伝わっているだけの話です。

脳にコントロールされているだけの感覚です。

食品には一次機能から三次機能までの役割があります。一次機能は栄養面での機能、二次機能がおいしいという嗜好面の感覚です。人間が生きていくにはこれだけでいいのですが、食べると幸せになる感覚をつかんで、より効率的に私たちはエネルギーを摂取しています。私が一番注目しているのがこの三次機能です。近年ブームの健康食品は、おいしいのでもないし、栄養があるわけでもない、三次機能についての商品です。生体防御、疾病の予防、回復、老化抑制といった機能を食品が持っている。もしくは可能性があるということで、盛んに研究されています。この部分は未解明の部分があって、学術的にも重要です。三次機能についての食品と言われる効能は科学的に証明されたものではありません。例えば、薬は人による臨床試験をやって、機能が証明された化合物です。しかし、食品は食べて何となく調子がいいよねという程度のものでした。

私が専門とするのは有機合成化学と言います。私たちの体の中は有機化合物に非常に敏感で、これをコントロールしていかなければなりません。これをいい方にコントロールするのが薬、逆にコントロールするものを毒と呼んでいます。



講演する齊藤准教授

す。天然であろうと人工であろうと科学的に考えることが必要です。

食品の機能の証明は非常に難しいです。人に実験するわけにはいかないからです。犬、猫ですら食べられないものがあります。どういうふうに証明しようか。まずは食品の純粋なもので機能を見た上で科学的に証明していきます。食品の研究には2種類あります。食品から抽出する方法と、化学的に合成する方法です。私たちがターゲットとしている化合物に、ワインのポリフェノール、柿の渋、リンゴなど、古くから人間が摂取しているものには、何か機能があるはずですよ。

学生たちが一生懸命科学的に合成した物を作り続けて研究しています。それで生物、人のがん細胞を育てたり、いろんなことをして機能を見ています。菌を抑える食品由来の有機化合物ができれば、食品の賞味期限を延ばせます。がん細胞の増殖が遅くなる化合物、ゆくゆくは電通印の薬ができればいいなとも思っています。人で臨床できるには学生たちの頑張りが必要です。機能性ポリフェノール、正常細胞に影響がなくて、がん細胞に効く化合物、学生たちが頑張って研究してデータを送ってきます。サーズウイルス、インフルエンザウイルスへの増殖を抑える機能も発見しました。今後、さらに発展していくと思います。」

★ 懇親会

第3回ホームカミングデーの一環として、友電会と大学との懇親交流会がZ号館3階で催されました。

橘 邦英学長、池本善一友電会会長、丹羽力也第54期大学祭実行委員会委員長の挨拶のあと、池宮達雄大学事務局長の発声で乾杯。歓談の合間には、岡本清孝クラブ同窓会会長の挨拶に続いて、少林寺拳法部のOBによる演武が披露されました。

*** 橘学長：**「ようこそお越しくださいました。今年のキャンパスは何か変わっているなど、お気づきになりましたでしょうか。皆さまにとっては懐かしいC号館がなくなっています。跡地は整地しますが、いずれ新しい建物の建設など、来年には計画の一端をお話できると思います。今後とも発展していくために、先輩諸氏のご理解、ご支援をお願い申し上げます。」

池宮大学事務局長による乾杯



***池本友電会会長(E02)：**「ノーベル賞受賞者が出るかなと期待できそうな講演でした。また大学内を見ていただいて、ずいぶん立派になったと実感されたことと思います。」

***丹羽委員長：**「OBさんたち、いろんな出し物をご覧になったと思います。来年も楽しんでいただけるような大学祭にしたいと思います。」



少林寺拳法の演武
解説：平岡氏
演武：有馬氏、松井氏

プロジェクション・マッピング

懇親会后、A号館をスクリーンに使ったプロジェクション・マッピングが披露されました。



◀ A号館の正面に映し出された
プロジェクション・マッピング



テクノフェア in ねやがわ

最先端の科学技術に触れる体験イベント「テクノフェア in ねやがわ」が11月2日(日)、寝屋川キャンパスと駅前キャンパスで開催されました。

今年も大学祭との同時開催で、受付の始まる午前10時前には、Z号館の前から旧B号館跡地を突っ切ってクラブハウスのあたりまで親子連れの長蛇の列が続きました。

今年の目玉企画は、いま話題の3Dプリンターや3Dレーザー加工機などの最先端工作機器が勢揃いした3D造形センター加工センターの実演と、3Dスキャナーで自分のミニチュアフィギュアの製作体験。この体験は高校生以下の10人限定で、200人を超える応募の中から選ばれた子どもたちが緊張した表情で3Dスキャナー「Artec EVA」のスキャンを受けていました。



全身のミニチュアフィギュア

このほか、Y号館、V号館では、恒例の「親子でラジオ製作」、「電気・電子部品でアクセサリをつくろう」、「人エイクラをつくろう」、「スーパーボールをつくろう」、「Egg Drop Contest」、「歩くんデス、レゴロボット」、「マイコンカーラリー」など、約40のイベントが人気を集めていました。



親子でラジオ製作



目をつむって全身をスキャン



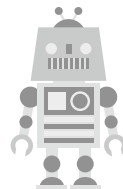
歩くんデス、レゴロボット



受付を待つ列

電通大杯

ヒト型レスキューロボットコンテスト



テクノフェアのイベントとして、電通大杯を競う「ヒト型レスキューロボットコンテスト」が11月2日(日)、駅前キャンパスで開催されました。

ヒト型レスコンは、2000年から毎年神戸で開催されている「レスキューロボットコンテスト」の新たな展開を目指して、ヒト型ロボット1台と操縦者1人で参加できるロボット競技で、今年で6回目になります。ヒト型ロボットを遠隔操縦して、約4m×2mのフィールド内で「トンネルくぐり」、「段差乗り越え」、「ガレキ除去」、「要救助者搬送」の4つのタスクを順にクリアし、かかった時間の短さを競います。

今回は、目視部門と搭載カメラ部門を合わせて15人が参加し、電通大杯は目視部門1位の村山玲次さん(大阪電気通信大学視覚メディア研究室)が獲得しました。

入賞者は次の通り。

- | | | |
|----------|--------------|-------------------|
| *目視部門 | 1位(電通大杯)村山玲次 | 大阪電気通信大学視覚メディア研究室 |
| | 2位 能勢賢人 | 大阪電気通信大学自由工房 |
| *搭載カメラ部門 | 1位 zeno | |
| | 2位 九州工業大学PBL | |
| *技術賞 | 大野拓美 | 大阪電気通信大学自由工房 |
| | 河端一紘 | 大阪電気通信大学自由工房 |
| *奨励賞 | 久保田和希 | 産業技術短期大学 |



熱心な観戦者でいっぱい会場



◀ 操縦する村山さん

zenoさん▶



なわフェス'14

母校・大阪電気通信大学四條畷キャンパスのイベント「なわフェス'14」が12月14日(日)、6号館前広場や上月ホールなどを会場に催されました。

5度目となる今年度の「なわフェス」には、寝屋川キャンパスの学生も運営に関わり、1年を通して『学外の方々に本校のことを知ってもらう』というコンセプトに加えて、『学生と来場者がコミュニケーションをとれるイベント』として企画されました。

6号館前広場には、学生による飲食系の出店が行われたほか、特設ステージでは、寒風の中、様々なパフォーマンスが披露され、キャンパスを訪れる人を楽しませていました。

6号館や上月ホールでは、展示や缶バッジ作りの体験コーナーなど、ワークショップも人気を集めていました。

また、コナミホールでは、増田俊樹さんと石井マークさんによる「豪華! W声優トークショー」が行われました。



野外ステージでのパフォーマンス



上月ホールの展示

トピックス TOPIX

プログラム表紙 ▶



自治会吹奏楽団 第39回定期演奏会

母校・大阪電気通信大学の自治会吹奏楽団第39回定期演奏会が12月27日、寝屋川市立市民会館大ホールで開催されました。

恒例の第一部「Symphonic Stage」の曲目は、「CENTURIA」、「そよ風のマーチ」、「OTHELLO」が演奏されました。また、第二部の「Pops Stage」は、「オリンピック・マーチ」、「オモイダマ」、「今、咲き誇る花たちよ」、「アイーダ FUNK!」、「ジャパニーズ・グラフィティⅧ」。指揮は濱崎朱敬さん、司会は放送研究会の田村 周さん(環境科学科1年)がつとめました。

アンコール曲は「アナ雪」、再アンコールは「六甲おろし」の手拍子で盛り上がり、閉幕しました。



司会は放送研究会の
田村さん



第一部を指揮した
濱崎さん

【Members】(敬称略)

- * Conductor 濱崎朱敬
- * Flute 磯田 諒、森本明香里
- * Clarinet 本田溪太、久保田春菜、釜矢梨乃
- * Bass Clarinet 濱崎朱敬
- * Alto Saxophone 原 彩香、安田 瑛
- * Tenor Saxophone 山本大助
- * Baritone Saxophone 中原沙織
- * Trumpet 熊谷 杏、大石孫之、安富 農、東浦亮太
- * Horn 橋場祥智、山本浩也
- * Trombone 村井元也、細山田格之、折口未来
- * Tuba 太田小太郎
- * Percussion 坂本ひかる、武知誠也、谷中直人、下司真佑美

【主催】大阪電気通信大学自治会吹奏楽団

【後援】四條畷市吹奏楽協議会

関西学生吹奏楽連盟

全日本学生吹奏楽連盟

大阪電気通信大学友電会

大阪電気通信大学クラブ同窓会

大阪電気通信大学自治会吹奏楽団OB会

大阪電気通信大学自治会



第一部の演奏

母校・水本雅晴名誉教授 『2014 Fuzzy Systems Pioneer Award』を受賞

母校・大阪電気通信大学の水本雅晴名誉教授が、IEEE Computational Intelligence Society から『2014 Fuzzy Systems Pioneer Award』を受賞しました。これは、ファジィ分野の先駆的な研究業績があった研究者に対して授与される賞で、ファジィ分野の国際的な賞です。

授賞式は2014年7月9日に中華人民共和国の北京国際会議場で開催された「2014 IEEE World Congress on Computational Intelligence, Award Ceremony」で行われ、招待された水本先生にIEEEのZurada副会長よりパイオニア賞の楯が手渡されました。



Masaharu Mizumoto receives 2014 fuzzy systems pioneer award from IEEE Vice President Jacek Zurada.

出典: IEEE Computational Intelligence Magazine

IEEEのZurada副会長より楯を授与される水本先生

ファジィとは、「あいまいなもの」と訳され、「いい加減さ」と誤解もされましたが、一般の人が使うほど一時ブームとなりました。しかし、今ではファジィという言葉は定着して、仙台地下鉄や大江戸線の列車制御、東京都庁のエレベーター群管理、洗濯機や炊飯器といった家電製品などのファジィ制御に広く使われています。

【略歴】大阪大学大学院基礎工学研究科電気工学専攻修士課程修了後、同博士課程修了(工学博士)。大阪電気通信大学工学部経営工学科教授。情報通信工学部情報工学科教授。2013年定年退職(現名誉教授)

水本先生と楯 ▶

このファジィ制御の理論は米国のザデー教授が1965年に提案したもので、これを日本で最初に広めたのが水本先生でした。今回はその功績が評価され、授与されたものです。



水本先生を囲んで、左から関 宏理先生(平成16年卒、現関西学院大理工学部教員)、渡邊先生(電気電子工学科教授)と研究仲間による記念写真(北京国際会議場で)

※IEEEは米国の電気・電子学会の略で世界的に権威のある学会です。



新理事長に成瀬氏

学校法人大阪電気通信大学は、2014年9月29日開催の理事会で、福田國彌理事長に代わり、成瀬 淳副理事長を新理事長に選出し、成瀬氏は同日付で就任しました。任期は2015年3月7日まで。

【新理事長プロフィール】

成瀬 淳 (なるせ じゅん)

1945年京都市生まれ。70年京都大学大学院工学研究科修士課程修了、株式会社日立製作所に入社。99年ストレージ・システム事業部長、2000年日立データ・システム社社長&CEO、03年日立グローバル・ストレージ・テクノロジーズ社社長&CEO、06年日立製作所技師長。09年退職。

2010年学校法人大阪電気通信大学理事就任。同監事等を歴任後、14年副理事長に就任。69歳。



寝屋川キャンパスC号館跡地整備

母校・大阪電気通信大学寝屋川キャンパスのC号館の解体に伴う跡地に工事が進められていた「円形芝生広場」が昨年12月15日に完成しました。

この広場にはツリープランターやベンチなどが設置され、学生の憩いの場としてだけでなく、J号館食堂と視線を通すことにより、より多くの学生の交流促進を図るものと期待されています。



完成した芝生広場

大阪電気通信大学YH(ユースホステル)部OB懇親会開催

大阪電気通信大学YH(ユースホステル)部のOB懇親会が2014年11月8日(土)、中之島フェスティバルタワー12FのLargo(ラルゴ)で開催されました。全国から51人のOBが出席し、昔話で盛り上がりしました。



全員で記念写真

懇親会は、クラブ設立者の一人である1963年(昭和38年)入学の柴田 稔さんの開会挨拶、同じく昭和38年入学の奥村康昭さん(母校名誉教授)の乾杯の発声で始まりました。今回は、1988年(昭和63年)入学と平成元年入学のOBが各々2人出席して、出席者の平均年齢もぐーんと若返り、自分たちの時代のクラブ活動を酒の肴に楽しいひと時を過ごしました。

OB会会長に昭和44年入学の藤井裕史さんが再任され、2年後の次回開催での再会を誓ってお開きとなりました。

【OB会事務局からのお願い】

まだ多くのOBの方の連絡先がわかっておりません。今回の懇親会の案内がお手元に届いていないYH部OBの方は以下の事務局まで連絡下さい。

〒562-0031 大阪府箕面市小野原東6-28-2-301

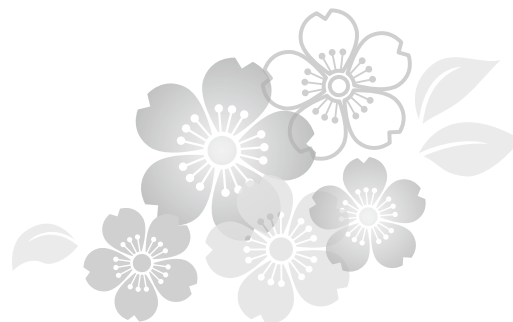
曾 我 賢 三 (昭和43年入学)

〈自宅〉072-728-2170

〈携帯〉080-2401-3358

〈携帯メール〉gasol1025@docomo.ne.jp

(PCメール着信不可)



友電会創立50周年記念特集 母校草創期「思い出のアルバム」

○ B 寄 稿 文

前号の友電会誌121号では、友電会創立50周年記念として「思い出アルバム」特集号を発刊しました。そのときには、掲載しきれないほどたくさんの貴重な写真や思い出の寄稿文が寄せられました。前号でご紹介できなかった1期生の青木政治氏による50余年前の母校草創期の思い出の寄稿文です。

なお、思い出寄稿文や古い写真があれば、ご提供下さい。随時、掲載させていただきますので、お待ちしております。

編集者



I 大学草創期のころ

E01 青木政治

昭和40年(1965年)春、大学1期生124名が大学を卒業してから、はや50周年になりました。私たち1期生が過ごした当時の大学と学生生活はどのようなものであったかを簡単に紹介しましょう。

◇大阪電通大は、阪大の寝屋川分校！ゆえに教授陣は一流

関西経済界の要請で急遽開設された為でしょうか、京橋にあった当時の阪大工学部の先生方による出前講義？が多く行われていたように思います。仲間には、阪大工学部で卒論を仕上げた者も何人かいましたし、大学卒業後も助手として阪大に就職した者もいました。(写真は、昭和38年12月9日に私が撮影した青柳先生と同じ頃の奥野、曾我部先生の講義の様子です)

◇講義も密度の濃いものでした

昭和38年12月2日(月)、音響機器を講義中の青柳教授が突然「今日から英語で講義をする」と宣言され、英語による講義が行われるようになりました。これには、皆もビックリしたものです。幸い岡部君がところどころを通訳してくれ、かろうじて私たちは内容を理解することができました。また、奥野先生の電波伝搬論の学期末試験問題が、私が受けたNHKの採用試験にそのまま出題されて大変驚いたことを記憶しています。奥野先生は、私にとりましては神様・仏様です。

◇先生方と親しく交流させていただきました

草創期のころはコンパクトで学生数も少なく、先生と一緒に奈良県五条市まで釣りに出かけたり、先生宅で入浴の後、奥様の手料理をご馳走になったり、あるいは梅田界限の赤ちょうちんを一緒に飲み歩いたり、人間的なおつき合いも充分にさせていただきました。

◇部活動も盛んに行われていました

私達が大学に入学した昭和36年春には、すでに短期大学があり、その部活に私たちが加わるなどして大学卒業時には、体育会系と文化会系のクラブ計20余りもが活発に活動していました。

勉学よりも部活動に青春のエネルギーを爆発させた輩も

たくさんいたようです。私も、無線通信技術部(JA3YBF)で仲間をコールサインで呼び合いながら国内QSOを楽しみました。

◇そして、学友会(友電会)が誕生！

昭和40年3月の卒業式に先立ち、2月19日(金)学友会会則準備委員会が学内で開催され、その後「学友会」が設置されました。

それから何年か経ち、「学友会」の名称は、田崎先生の電気磁気学の講義に良く出て来た「遊電界」を参考に「友電会」と改名されました。

◇卒業、そしてその後

私は昭和40年春、諸先生方に鍛えてもらったお陰で幸運にもNHKに就職することができました。1期生124名は、朝日放送、



「今日の健康」制作風景

関西テレビ、NHKなどのマスコミやKDD、各電機メーカー、公務員、教員、電通などにそれぞれ巣立って行きました。

数年前に全国の放送局への同窓生の就職状況を調べてみましたが、約20社に40名ほどが就職していることがわかりました。関連するビデオプロダクションを含めれば現在、相当数の同窓が放送関係の仕事に従事しているようです。

最後に、大阪T-5スタジオで「今日の健康」をスイッチャーとして制作していた若き日の写真と平成3年9月にNHK本部で当時の日本の最先端技術を駆使して完成させたNHK番組送出の心臓部とも言うべき番組送出コントロール室の写真を紹介して終わりとします。



NHK番組送出
コントロール室

訃報

ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。



元学校法人大阪電気通信大学副理事長

水野博之氏

元学校法人大阪電気通信大学副理事長の水野博之氏が昨年10月12日、逝去されました。85歳。

1952年京都大学理学部を卒業し、松下電器産業に入社。半導体の技術開発などに携わり、90年副社長。退職後、2000年3月学校法人大阪電気通信大学副理事長、14年8月辞任。

高知工科大副学長、スタンフォード大学 顧問教授、コナミ(株)取締役なども務め、著書は「今こそ松下幸之助に学ぶ」など多数。故松下幸之助氏の経営理念を伝えました。



友電会評議員 母校・大阪電気通信大学元准教授

野村恵章氏

友電会評議員で、母校・大阪電気通信大学元准教授の野村恵章先生(F04期)が昨年11月26日、肝がんのため逝去されました。同月28日(金)に奈良県北葛城郡で告別式が執り行われました。享年72才でした。

先生は大阪電気通信大学高等学校教諭を経て、短期大学部から工学部数理科学研究センターの准教授となり、2008年(平成20年)3月に定年退職された後、病院に勤めておられました。先生は大学創設時にもお手伝いをされており、当時のこともご存じの方でした。なお専門はX線分光光学でした。

謹んでお悔やみ申し上げます。



友電会評議員 母校・大阪電気通信大学工学部電子工学科元講師

高木晴雄氏

友電会評議員で、母校・大阪電気通信大学電子工学科元講師の高木晴雄先生(E03期)が昨年12月8日、肺がんのため逝去されました。同月11日(木)に尼崎市東園田町の安養寺で告別式が執り行われました。享年69歳でした。

1968年(昭和43年)に母校を卒業、工学部電子工学科の黒部研の助手となり、その後講師になって教育研究に専念され、2008年(平成20年)3月に母校を定年退職されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。



友電会元評議員 母校・大阪電気通信大学工学部電子工学科元講師

榎本正義氏

友電会元評議員で、母校・大阪電気通信大学工学部電子工学科元講師の榎本正義先生(E01期)が、2014年12月31日、逝去されました。享年72才でした。

1965年(昭和40年)3月に大阪電気通信大学・工学部電子工学科を第1期生として卒業後、母校の中野 稔研究室の助手となりました。専門は回路工学で、その後講師になり教育研究に専念され、2008年(平成20年)3月に母校を定年退職されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。なお、榎本氏は友電会草創期には、友電会事務局長として尽力されました。

「平成27年度 友電会通常総会・合同懇親会」

— 合同懇親会総会として緑樹会とクラブ同窓会との合同で開催決定 —

大阪電気通信大学友電会は、昭和40年(1965年)4月に学友会として創設されてから、本年4月には満50年となります。半世紀を越える友電会の歴史を振り返りながら、今年も満50周年記念として、緑樹会(母校教職員同窓会)およびクラブ同窓会との合同で開催することになりました。

また、総会での記念講演には、昨年7月、ファジィ分野の先駆的な研究業績で、電気電子情報通信分野で世界的に権威ある学会のIEEE Computational Intelligence Societyから『2014 Fuzzy Systems Pioneer Award』を受賞しました母校・名誉教授の水本雅晴先生をお招きして記念講演をしてもらうことになりました。

ファジィとは、「あいまいなもの」と訳され、今ではファジィの言葉は一般に定着して列車制御、洗濯機など家電製品にファジィ制御が広く使われています。このファジィ制御の理論は米国のザデー教授が1965年に提案したもので、これを日本で最初に広めたのが水本先生でした。

今回は、我々のごく身近で使われているファジィ制御にまつわるよもやま話を、易しくお話をして頂きます。

- 日 時：平成27年6月20日(土)
- 会 場：大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス J号館
- 会 費：3,000円

(同伴者、学生、大学関係者、来賓、名誉教授は無料)

※詳細は、5月初旬に発行して友電会員全員に配送する「友電会誌123号」に掲載します。
それまでに決まり次第、友電会ホームページ「<http://www.yudenkai.org>」にも掲載します。

記念講演会



《講師》 水本 雅 晴 先生
母校・名誉教授
ファジィ研究者

《講演題目》
「ファジィよもやま話」
～黎明期、ファジィブーム、
安定期を体験して～

告知 「平成27年度 友電会神戸支部総会・懇親会」開催案内

大阪電気通信大学友電会の平成27年度神戸支部総会・懇親会を右記の通り開催します。母校1期生の臼井 宏氏による記念講演とジャズ歌手「リザ」さんの楽しいコンサートを予定しています。ぜひ、御家族共々、皆さま多数のご参加をお待ちしております。

- ◆ 日 時：平成27年4月19日(日)
13:00 受付、13:30～17:00 総会・懇親会
- ◆ 会 場：ホテル神戸東急イン
JR、阪神、阪急、地下鉄三宮駅下車、東へ徒歩5分
- ◆ 会 費：会員 6,000円 (同伴者、家族は無料)
- ◆ 記念講演：臼 井 宏 氏 『発明よもやま話』

- 出欠はFAXまたはE-mailにて御氏名、住所、電話番号、メールアドレス等、記載のうえ横道一雄事務局長宛まで、ご連絡下さい。

FAX : 078-982-4950

E-mail : yokomichi@leto.eonet.ne.jp

告知

「平成27年度 友電会東海総支部総会・懇親会」のご案内

大阪電気通信大学友電会の平成27年度東海総支部総会・懇親会を下記の通り開催します。

ぜひ、この機会にご参加賜り、東海地区の友電会会員との情報交換、交流の場としてご利用いただきたく、ご案内申し上げます。

◆ 日 時：平成27年5月16日(土)

13:30～17:00

◆ 会 場：名鉄ニューグランドホテル

JR名古屋駅新幹線側スグ

◆ 会 費：5,000円（ご家族、同伴者は無料）

*タイムテーブル

- ・13:00 受付開始
- ・13:30 東海総支部総会
- ・14:00 記念講演会 および 演奏会
- ・15:30 懇親会（立食パーティー形式）
- ・17:00 閉会

● 出欠の連絡は下記項目をFAXまたはE-mailで友電会事務局または志村まで、

①氏名、②卒業年・学科、③連絡先をご記入下さい。締め切りは、**4月30日(木)**まで。

【友電会事務局連絡先】 FAX：072-824-1197

E-mail：yudenkai@yudenkai.org

【志村連絡先】

E-mail：tetsuki@cac-net.ne.jp

告知

「平成27年度 友電会びわこ支部総会・懇親会」のご案内

～湖国しがの歴史を訪ねて～

大阪電気通信大学友電会の平成27年度第24回びわこ支部総会・懇親会を右記の通り開催します。今回の支部総会は、湖国しがの歴史を訪ねてというテーマで、滋賀県東近江市にある永源寺は瑞石山(飯高山)と愛知川(音無川)の山中、静かに佇んでいる古くから紅葉の名所として名を馳せてきたところで、開山寂室禅師の詩にも「屋後の青山、檻前(かんぜん)の流水」と詠われ、深い自然にいだかれた幽境です。

タイムテーブルや講演会などは未定ですが、詳細が決まり次第、5月発刊予定の友電会誌総会号と友電会ホームページ(<http://www.yudenkai.org>)でお知らせいたします。御家族共々、皆さま多数のご参加をお待ちしております。

◆ 日 時：平成27年10月10日(土)

10:00～17:00

◆ 会 場：臨済宗永源寺派永源寺

滋賀県東近江市永源寺高野町

◆ 会 費：6,000円（お一人さま）

《 申込み〆切 》

9月28日(月) 友電会びわこ支部

問い合わせ先

びわこ支部ホームページ (<http://yuudenkai-biwakosibu.jp/biwa/>) にアクセスして下さい。連絡を受け次第お返事致します。

【びわこ支部長 澤居比佐夫】 E-mail：sawady-k@zeus.eonet.ne.jp

プロジェクト マッピング

四條畷キャンパスにある産学連携の拠点「先端マルチメディア合同研究所」(JIAMS)は、各地のイベントに協力して「プロジェクトマッピング」を上映しています。



5月5日(月・祝)、尼崎中央公園(兵庫県)空中庭園で開催された「あまテラサカス2014」



10月18日(土)、寝屋川市駅前せせらぎ公園で開催された『新天地 in NEYAGAWA』イズミヤ寝屋川店の壁面に上映



11月1日(土)、寝屋川キャンパスホームカミングデーA号館の校舎壁面に上映



イルミネーション

昨年12月1日(月)～今年1月16日(金)の17時～23時、寝屋川キャンパスの正門前、高宮キャンパス道路側・中庭、駅前キャンパスの南側ガラス面、屋外の樹木にイルミネーションが点灯されました。





全国各地で開催された 総会・研修会

九州支部 9/27



東海総支部 10/11



関東総支部 10/18



YH部OB会 11/8



京都支部 11/15

